

＜世界初※＞次世代電子ミラー 「フェンダー付けデジタルアウターミラー」を新開発

株式会社東海理化(本社：愛知県丹羽郡大口町 取締役社長：二之タ 裕美)は、従来の鏡を使用したドアミラーに代わり、ドライバーのより広範囲な視野確保による安全性向上および風抵抗低減による燃費向上に貢献可能な「フェンダー付けデジタルアウターミラー」を開発しました。

カーボンニュートラルなどの環境に配慮したシステムや動力で走るクルマ、スマートシティといったIoT (Internet of Things) が進んだ街での活躍が期待される自動運転車両など、未来へ向けた様々な自動車開発が世界的に進んでいる昨今、この度当社が発表するのはこれまで自動車部品メーカーとして35年以上にわたり培ってきたドアミラーや電子ミラーの設計および搭載技術を活かした世界初の技術提案です。

※フェンダー一部搭載の電動格納機能付き電子ミラーとして。2021年5月18日時点。当社調べによる。

＜主な製品特徴＞

- ①フェンダー部への電動格納によるカメラ汚れ防止 **世界初**
- ②多彩なイルミネーション機能集約による様々なコミュニケーションの実現 **世界初**
- ③より広範囲な視野確保による安全性向上
- ④製品の小型化による風抵抗低減 (燃費向上)

＜車両搭載イメージ＞



東海理化は今後も、これまでの自動車部品メーカーとして培った技術を活かし、人々の暮らしに安心と快適をもたらす製品開発を継続してまいります。